

令和2年 第2回岐阜県議会臨時会 提出議案に関する説明会

1 会議の日時	<p style="text-align: right;">開 会 午後 0 時 0 0 分</p> <p>令和2年5月8日 (金)</p> <p style="text-align: right;">閉 会 午後 1 時 0 3 分</p>	
2 会議の場所	議会西棟第1会議室	
3 出席者	委員	<p>猫田 孝 岩井豊太郎 玉田 和浩 藤 埴 守 尾藤 義昭 伊藤 正博 渡辺 嘉山 小川 恒雄 松村多美夫 村下 貴夫 森 正弘 佐藤 武彦 平岩 正光 川上 哲也 伊藤 秀光 野島 征夫 水野 正敏 小原 尚 松岡 正人 山本 勝敏 田中 勝士 野村 美穂 高木 貴行 加藤 大博 林 幸広 高殿 尚 水野 吉近 国枝慎太郎 長屋 光征 布俣 正也 広瀬 修 若井 敦子 伊藤 英生 澄川 寿之 中川 裕子 恩田 佳幸 山内 房壽 安井 忠 森 治久 藤本 恵司 今井 政嘉 所 竜也 平野 恭子 平野 祐也 小川 祐輝 (45名)</p>
	執行部	別紙配席図のとおり
4 事務局職員	<p>議会事務局長 服 部 敬 課長補佐 蕨 野 孝 関係職員</p>	

5 会議に付した案件

件名	審査の結果
1 令和2年第2回岐阜県議会臨時会提出議案について	

6 議事録（要点筆記）

○議会事務局長

ただいまから、提出議案に関する説明会を開催する。
はじめに議長からご挨拶申し上げます。

○議長

（あいさつ）

○議会事務局長

それでは、先に案内した日程に従い、説明会を進める。
以後の進行を副議長にお願いする。

○副議長

それでは、提出議案に関する説明会を始める。

なお、本説明会では、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の一環として、執行部の説明は、説明員を必要最小人数とした上で「2部入れ替え制」にて行う。

進行の流れとしては、第1部で専決予算の全体説明と、健康福祉部、商工労働部、農政部から専決予算にかかる個別の事業説明を受け、続いて、補正予算の全体説明と、同じく健康福祉部、商工労働部、農政部から補正予算にかかる個別事業の説明を受け、質疑応答を行った後、執行部を入れ替える。

次に、第2部で、補正予算のうち、知事直轄、総務部、清流の国推進部、危機管理部、環境生活部、教育委員会、県警本部から個別事業説明を受け、最後に、県税条例の専決承認と条例その他に関する議案の説明を受け、質疑応答を行うこととするので、了承願いたい。

なお、人事案件については、質疑をしないことを例としていることから、議第76号「監査委員の選任同意について」は、この説明会では取り扱わないこととする。

それでは、執行部からの説明をお願いします。

（総務部長挨拶の後、関係次長等が資料に基づき議案の概要を説明）

○副議長

続いて、質疑に入る。

質疑は、一問一答で簡潔な質疑にご協力をお願いします。

○議員

歳入について、地方創生臨時交付金が当初の予想より低かったことにより、基金からの繰入れを行ったとのことだが、交付金が減らされた経緯は。

○財政課長

地方創生臨時交付金の各都道府県の交付限度額については、5月1日に初めて内閣府から通知があり、岐阜県は66億8千万円余であった。必要額71億円ほどを見込んでいたため、不足分について基金から繰り入れることとした。

○議員

農政部が飛騨牛と花きを重点的に応援しているが、他の県産品の生産量がどれくらい落ち込んでいるのか、把握はされているか。また、飛騨牛と花きについて、生産量や価格がどれくらい下落しているのか、具体的な数字は把握されているか。

○農産物流通課長

具体的な数字については、市場の流通量などでそれぞれ把握している。

野菜等については、岐阜中央卸市場においてデータをとっており、3月4月の数字ではあるが、生産量は約7パーセント減、市場価格は約2パーセント減となっている。

飛騨牛については、高級食材である上、インバウンドの減少もあり、市場単価も落ち込んでいる。

飛騨牛1頭あたりの価格は、昨年度は約140万円であったところ、現在は、約110万円となっており、1頭あたり約30万円の下落となっている。

○農産園芸課長

花きについては、4月の緊急事態宣言の発令直後から注文のキャンセルが顕著に増加しており、大幅な需要減となっている。県産花きは、主に県外へ出荷されており、例えば、首都圏市場における売り上げでは、4割から5割の減少となっている。

○議員

商工労働部でも県産品に対する応援をいただいているが、航空産業をはじめとする他の地場産業など、それぞれの産業がどのような状況にあるのか把握されているか。

○商工政策課長

毎月の工業生産指数などを捉えて把握に努めているが、データが出揃うまでにタイムラグが生じているところである。

コロナ対策本部においては、経済界の関係者や経済団体との意見交換会を開催して、現場の声や現状をお聞きしながら、足元の部分を応援させていただいている。なお、観光業については、3月末までに県内全体で13万4千件ほどのキャンセルが出ているとか、3月の有効求人倍率について、直近で1.64倍であるということも把握している。

このような状況を踏まえ、随時、対応策を検討してまいりたい。

○議員

それぞれの産業ごとに数字を把握して、ピンポイントで支援をしていただきたい。

次に、雇用調整助成金の上乗せについて、各市町村で上乗せ支援を行った場合、県が二分の一の額を助成するということであるが、県下42市町村で上乗せの意向がある市町村はどれくらいあるのか。

○労働雇用課長

県から市町村に対して、助成制度の案内を発出するとともに、市町村の対応状況について問い合わせを行っているところであるが、国の制度が次々と変更となり、市町村も戸惑っている状況である。現時点、助成の上乗せを検討している市町村は3自治体ほどあるが、その他については把握できていないため、今後把握に努めていく。

○副議長

質問も尽きたので、これをもって、第1部の説明を終了する。

執行部入替えのため、しばらく休憩する。

午後0時41分 休憩

午後0時44分 再開

○副議長

議案説明会を再開する。

休憩前に引き続き、執行部から説明をお願いします。

(関係次長等が資料に基づき議案の概要を説明)

○副議長

続いて、質疑に入る。

質疑は、一問一答でお願いします。

○議員

幼稚園のマスク等の購入補助と県立高校等における衛生関係物品の整備について、幼稚園の購入補助の対象の中には私立の幼稚園も入っているが、私学の小中学校は助成対象とならないのか。

○私学振興・青少年課長

私学の小中学校に対しては、昨日から1人につき2枚の布マスクを配布することが始まっており、今後順次配布されることとなっている。

○議員

消毒液等の必要な衛生物品については、県として、公立学校に限らず、子どもが通うすべての学校、すなわち私立の小中学校に対する対策も徹底すべきと思うが、お考えは如何か。

○私学振興・青少年課長

昨日、国の方から、単価にして生徒1人あたり340円、これに児童生徒数を掛け合わせた金額を上限として、国が二分の一を負担するという示達があり、これを原則に助成を進めていく。

○議員

公立学校に対しては、県から諸支援を行うところ、私学に対する支援は、例えば、県が消毒液等の必要物品を一括購入し、それを私学に配分する等の支援を考えた方が良いのではないか。

○私学振興・青少年課長

現在、国は衛生用品については、単価を示して配分をしており、配分先は、幼稚園が中心となっている。私立幼稚園に対しては、購入要望や数量要望を国へ報告して、国から配分を受けられるよう進めているところである。私立の小中高等学校については、スキームがないため、要望を承って検討を進めてまいりたい。

○議員

県立高校等における家庭学習の支援については、速やかな対応により実現している。残るは、小中学校の学習支援であるが、今後の学習の進め方の解説動画の作成スケジュールはどうなっているか。また、現在市町村の対応状況はどうなっているか。

○教育委員会参与

小中学校については市町村が設置者であり、市町村による独自の取組みがある一方、県としても一定の支援を進めているところ。動画については4月24日に、小学校各学年10の授業、中学校は12の授業、合計22の授業についてDVDを作成し、配布を行った。続いて4月30日には追加の科目を作成し、小学校国語については全学年揃ったところ。また、新型コロナウイルス感染症についての学習映像や、この内容をポルトガル語、タガログ語版でも作成・配布したところ。今後の配布については、5月11日及び5月21日を予定しており、全学年、全教科について揃えていきたいと考えている。

○副議長

質問も尽きたので、これをもって提出議案に関する説明会を終了する。

